

■ 2009年度 入試問題分析シート ■

名古屋大学

前期日程

科目	地 学
----	-----

総 括	試験時間	情報(自然) 75分<1科目>, 理 150分<2科目>	難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
	満点(配点)	情報(自然) 300点<1科目>, 理 500点<2科目>	分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

〈総 論〉

地球の総合的視点がうかがえるが、出題には充分活かされていない。

〈特記事項・トピックス〉

地球表面でのエネルギー輸送への着目は今後は地球温暖化の出題に発展する可能性あり。

〈合格への学習対策〉

地球の全体的減少への関心を持とう。

設問ごとの分析

問題番号	出題形式	範囲	分野・テーマ	特徴(内容分析・解答上のポイント)	問題レベル
I	記述 計算	I	地球と化石	地質断面露頭(崖)の解釈。	標準
II	穴埋め 論述	I・II	プレート	プレートの運動の実体を考える。	難
III	穴埋め 選択 記述	I	原始地球	化学の知識が必要。	やや難
IV	穴埋め 記述 選択	I	大気と海洋の大循環	地球上のエネルギー輸送を考える。	標準

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。